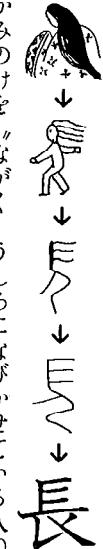


長
二年
筆順
一 フ 三 長長
画数 8
オノ
フシ
ながい

成り立ち



かみのけを「ながく」うしろになびかせている人のすがたをあらわしたもので、『ながい』といふをあらわした字です。

『ながい』ものは『みじかい』ものよりも『すぐれている』と見られますので、『すぐれている』といふにつかわれ、『年上』『日上』『年とつた人』などにみにもつかわれます。

また、そのグループで『かしら』になる人を『長』といいます。例校長、園長、市長、課長。

鳥

二年
画数 11
筆順
一 フ 三 長長
画数 11
オノ
フシ
ながい

成り立ち



『とり』のかたちをあらわしたもので、『とり』といふことばをあらわした字です。

じゅくごは、おおくは音でよむのがふつうです。この『鳥』のばあいは、訓でよむじゅくごも『鳥目』『鳥肌』『鳥居』『閑古鳥』など、かなりあります。

『とり』のかたちをあらわしたものに『隹』がありますが、これは『集』『雄』など、字の一ぶとしてつかわれ、たんどくにはつかわれません。

使い方

▽ ぼくのいえは、いなかにあるので、ちかくにはいろいろな野性の鳥やけものがいます。とくに、ちかくをながれている川には、いろいろなしゆるいの水鳥が、むれをなしておよいでいます。

▽ となりのおみせのおじさんが、「うちは、いつも閑古鳥がないでいるよ」といいました。わたしはなんのことかわからずに、きょとんとしていました。そしたらおじさんは、「しようばいが、ひまだつてことを、閑古鳥がなく、というんだよ。閑古鳥つていうのは、かつこうがなまつたんだそうだ。かつこうは山おくでなくだろう。人けがないつていうことを、しやれていったんだろうね」と、せつめいしてくれました。

熟語例

▽ 野鳥 (野生の鳥。いえてかっている鳥にたいして、いふことばです。)
▽ 一石二鳥 (一つの石で二つの鳥をおとし、つかまえること。一つのことをして、二つのとくをすることのたとえとして、つかわれます。)

便り方

▽ とけいの長針がひとまわりすると一時間です。
▽ 長男の身長は、長女の身長より十センチたかい。
▽ 校長先生は父より五さい年長です。

熟語例

▽ 長針 (長い針)
▽ 長命 (長生き。寿命が長いこと)
▽ 長寿 (長生き。寿命が長いこと)
▽ 長男 (いちばん上の男の子)
▽ 長女 (いちばん上の女の子)
▽ 長針 (すぐれている所。よい所)
▽ 長所 (すぐれている所。よい所)
▽ 身長 (身のだけ。せの高さ)
▽ 年長 (年上)

▽ 延長 (延びて長くなること。長く延ばすこと)
▽ 長官 (官庁のかしら。官は『やくしょ』)

▽ 長者 (年上の人。年下の人。また、身分の高い人。の高い人。また、『大金持ち』のこと。)

▽ 長幼序 (年上のものと年下のものとのあいだには順序があるので、それに従つて、年下のものは年上のものをそんけいすること、といふことば)
▽ 野鳥 (野生の鳥。いえてかっている鳥にたいして、いふことばです。)
▽ 一石二鳥 (一つの石で二つの鳥をおとし、つかまえること。一つのことをして、二つのとくをすることのたとえとして、つかわれます。)